

活動の新たな展開

文化による平和構築

紛争や被災地域の復興に文化の持つ

大きなパワーを生かし、平和の構築に貢献

- アフガニスタン陶芸の村イスタリフの陶工訪日研修(p.10)
- 文化による元紛争地域の子どもの心のケア「インドネシア・アチェ子ども会議」(p.29)



日本文化の魅力を海外に発信

展覧会や公演、レクチャー・デモンストレーション……

海外で注目される日本の現代文化を多角的に紹介

- アニメ・ファッション・J-POP・食文化……。世界で人気のCool Japanを伝える
- インドネシア交流年に多角的に展開したアーティスト交流プロジェクト「KITA!!」展(p.7)
- 日本ブラジル交流年や日本・ドナウ交流年を記念する大型文化紹介事業を実施(p.8,9)

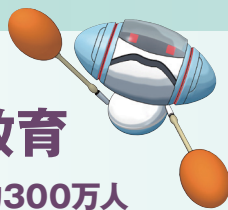


海外の日本語教育

世界で日本語を学ぶ人は約300万人

日本語教育の質・量両面の発展を強力にリード

- JFにほんごネットワーク：世界の日本語教育機関をつなぐ、通称「さくらネットワーク」2008年度末のメンバーは54機関に(p.15)
- 世界中で使えるインターネットやTV放映用教材の開発(p.17)
- 日本語教育・学習・評価の枠組みとして「JF日本語教育スタンダード」を開発(p.16)
- 日本語能力試験：2008年度は国内外52カ国・地域で、約56万人が受験(p.16)



幅広い知的ネットワークの構築

世界共通の課題解決に取り組むため知識人のネットワークを強化

- 日中韓次世代リーダーフォーラム(p.25)
- 中国知識人グループ招へい(p.28)
- 米国若手指導者ネットワークプログラム(p.26)
- 日露知的対話事業(p.25)
- 日本・アフリカ報道関係者会議(p.23)
- 日本研究ネットワークの強化(p.24)



企業の社会貢献活動と連携

- 英・仏・独などこれまでに8カ国の日系企業の社会貢献活動を調査
民間企業との連携を深めます(p.31)



2008年度 国際交流基金賞

ジャパンファウンデーションでは、1973年以来毎年、学術、芸術、その他の文化活動を通じて、国際相互理解の増進や国際友好親善の促進に特に顕著な貢献があり、引き続き活躍が期待される個人または団体に「国際交流基金賞」を授与し、国際文化交流の発展を奨励しています。2008年度より国際交流基金賞と国際交流奨励賞を統合し、「文化芸術交流部門」「日本語部門」「日本研究部門」の3部門で国際交流基金賞を授賞することとしました。



©玉重佐知子

トーチカ(PIKA PIKA GAMBAR HALILINTAR 2008), 2008



国際交流基金は新しい時代の要請に応える

文化交流事業を展開しています



©2006 The Japan Foundation



文化芸術交流部門

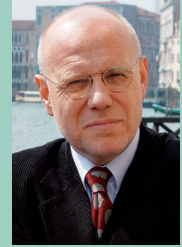
マルコ・ミュラー | Marco MÜLLER

イタリア

ヴェネチア国際映画祭ディレクター

欧州の主要な国際映画祭のディレクターとして、日本を含むアジアの優れた映画を見だして積極的に紹介し、日本映画の豊かさを広く海外に知らせ、世界の新たな文化的創造へ大きく貢献した。

[受賞記念講演会]「私と日本映画」
2008年10月2日 イタリア文化会館アネッリホール
*イタリア文化会館との共催



日本語部門

アンジェラ・ホンドル | Angela HONDRU

ルーマニア

ヒペリオン大学言語学部日本語・日本文学科教授

ルーマニアにおける日本語教育の草創期より長年にわたり教師、教科書執筆、研究者として日本語普及を積極的に行うとともに、ルーマニア語への翻訳を通して日本近・現代文学及び日本文化の紹介に大きく貢献した。

[受賞記念講演会]「日本との出会い」
2008年10月4日 ジャパンファウンデーション JFICホール[さくら]
*JFサポーターズクラブイベント



日本研究部門

ケネス・パイル | Kenneth B. PYLE

米国

ワシントン大学歴史学部・

同大ヘンリー・ジャクソン・スクール教授

日本近・現代史を中心とした学術研究において多大な業績をあげるとともに、日本研究学術誌の編集委員長や日米関係の委員会の要職を務め、米国における対日理解、日本研究の発展と日米の学術交流に大きく貢献した。

[受賞記念講演会]「Emerging Political Generations in East Asia」
2008年10月2日 国際文化会館 岩崎小彌太記念ホール
*国際文化会館との共催

